

授業科目 ドイツ語 I

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健康・スポ・社会・看護・情報	
スヴェン・イェント		開講時期	後期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度
○				○		◎
【概要】						
<p>よく「ドイツ語は難しい」と言われるが、それは逆に言えば、文法さえ押さえれば難しい文章でも辞書を片手に読めるようになる、ということでもある。つまり、「学校文法」と堅苦しく考える前に、パズルを解く鍵のようなものと捉えれば、興味深いものとなる。テキストを通して異文化に触れ、広い視野をもって専門性へつながるよう橋渡しをする。なお、使用教科書は主にサッカーが話題となっているが、サッカーには特に興味のない人にとっても、ドイツの歴史や生活文化を知る入り口として、この国民的スポーツは意外にも適している。現地に行っても、サッカーの話題についてゆくことができれば、コミュニケーションが円滑になるだろう。</p>						
【学習目標】						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 平易なドイツ語の文章を理解できる。 2. 基礎的なドイツ語文法を習得し、文章を書くことができる。 3. 簡単なドイツ語会話を理解できる。 4. ドイツ語を用いて、簡単な意見を相手に伝えることができる。 5. ドイツ語学習を通して、ドイツ語圏文化を理解する。 						
回数	授業計画・学習の主題				SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ドイツ語のアルファベットと発音の仕方					講義
2	基本のあいさつ表現					講義
3	自己紹介の仕方					講義
4	数量の表現					講義
5	買い物をする時の表現					講義
6	時間の表現					講義
7	所有冠詞					講義
8	会表現でよく使われる基礎単語					講義
9	レッスン1～レッスン8の会話表現の実践					講義
10	レストランでの注文の仕方					講義
11	実名詞					講義
12	ドイツ語の単複					講義
13	レッスン10～11の会話表現の実践					講義
14	ホテルの予約の仕方（グループレッスン）					講義
15	レッスン1～14の総復習					講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書		『クラウン独和辞典』など、初學者 信岡 資生、濱川 祥枝 向けの独和辞典		三省堂	2008・4,200円	
その他の資料						
【評価方法】			【履修上の留意点】			
出席、宿題の提出率および期末試験			<p>文法事項に目を通し、自分で辞書をひいて単語を調べておくなど、予習は必ず行ってください。語学は、予習をどれだけして来るかで講義の効果が変わってきます。なお、参考書に挙げておいた辞書と同じでなくても構いませんので、自分で使いやすいような独和辞典を用意しておいてください。</p>			